

里地里山の保全活用に取り組むみなさんへ

自分たちの活動を点検・評価してみませんか？

「活動の自己評価シート」を作成しました！

本シートは、「活動の自己評価」の取組を広めていくことを目的として、全国各地の約300団体にご協力いただいたアンケート調査（「里地里山保全活動の推進効果に関するアンケート」）の結果をもとに作成されたものです。

《シート活用のメリット》

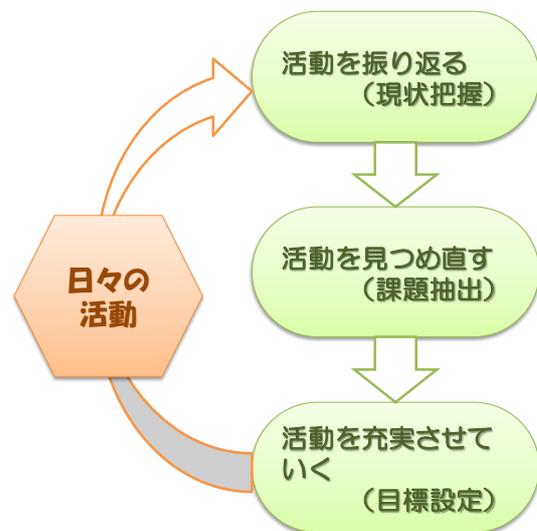
- 個々の活動やフィールドとなる里地里山の状況を自己点検できます
- 活動の効果について客観的に評価でき、対外的に活動をアピールしやすくなります
- 自らの評価を踏まえた目標設定を行うことで、モチベーションが高まります

「活動の自己評価」とは？

全国各地で活動団体等により行われている里地里山保全活用のさまざまな取組は、国内の里地里山の豊かな恵みを未来に引き継いでいくうえで重要な役割を担うものです。

各地域における個々の活動の継続・拡大は、国内の里地里山保全の取組の活性化につながるとともに、国民的運動の推進の一助となることが期待されます。

そのため、個々の活動の継続・拡大に向けて、活動主体自身による活動評価により活動状況を把握し、自らの活動を見つめ直したうえで、より良い活動を目指していくことが大切であると考えます。



活動の自己評価のしくみ（流れ）

☆自己評価のポイント☆

- 上記アンケート調査をもとに設定された指標項目や評価基準によって、「活動する里地里山環境の状況」「活動の広がり多様さ」「活動目的に応じた活動状況」「活動により得られた成果」を評価します。
- 継続的な自己評価の実施によって、活動を経年的に比較・評価することもできます。

～より良い自己評価シートの活用法～

本シートでは、活動を自己評価できる視点（評価の指標）を、さまざまな角度から示していますが、こうした視点を参考にして、自身の活動内容に合わせた新たな視点や活動の成果をアピールできる視点などを加えることにより、各団体がそれぞれ独自の評価シートを作り上げていくことも大切です。

本シートが、継続的でより良い活動につながるためのツールとして、たくさんの活動団体のみなさまに活用されることを願っています。

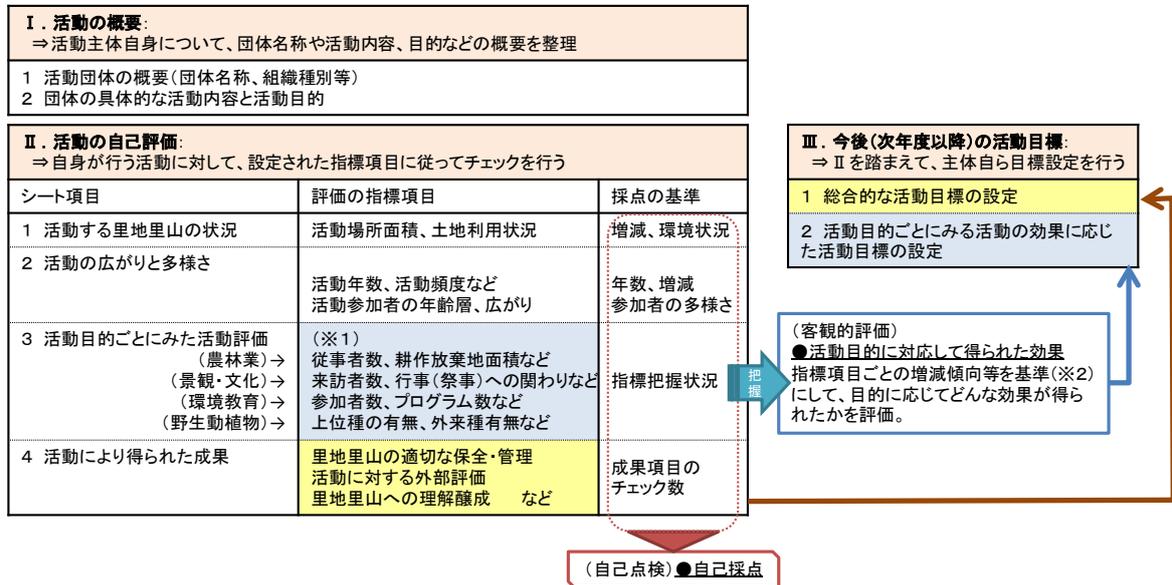
国内の里地里山の保全活用に向けた動き

国内の里地里山は、都市周辺地域の里地里山や中山間地域の里地里山など、自然環境の状態や人との関わり方によって特性が異なるため、そうしたエリア特性に応じたさまざまな施策が必要となります。

国では、「活動の自己評価シート」作成による全国の里地里山保全活動の継続・拡大への支援のほか、主に都市周辺地域での活動を対象としたボトムアップ型の国民的運動の促進によって里地里山の活動拡大を図るとともに、担い手の不足等で里地里山の管理が行き届かなくなっている中山間地域や奥山周辺についても、土地利用のあり方を含め今後の管理方針を検討していくこととしています。

シートの構成と記入の手引き

「活動の自己評価シート」の構成



(記入の手引き)

I. 活動の概要

＜ポイント＞活動主体自身について、団体名称や活動内容、目的などの概要を整理します。

I-1. 活動団体の概要

→活動団体名称、活動主体の組織種別、活動場所の地名・住所を記入してください。

I-2. 団体の具体的な活動内容と活動目的

→具体的活動内容一覧から貴団体の活動内容にあてはまるものを選んでください。

→具体的活動内容に対応した活動目的を選んでください。

→一覧に記載のない活動内容を行っている場合、「その他」の欄に具体的内容を記載してください。

II. 活動の自己評価

＜ポイント＞活動主体自身が行う活動に対して、設定された指標項目に従ってチェックを行います。チェックに応じて以下II-1～II-4の自己採点を行い、それらの合計によって、現在の活動の「自己評価点」を算出することができます。継続的な自己評価の実施によって、自身の活動を経年的に比較・評価できます。

II-1. 活動する里地里山の状況 ～「里山環境点」の評価～

→活動場所の面積（複数ある場合はその合計）を、単位も含めて記入してください。
 なお、面積については採点対象外となります。

→活動場所の面積や数の増減、活動場所の土地利用状況について、あてはまるものを選んで、配点に従って合計（里山環境点）を算出してください。

Ⅱ-2. 活動の広がり と 多様さ ～「里山活動点」の評価～

→活動継続年数、年間活動回数の増減、活動主体が行うプログラム等への参加者数の増減、活動に参加・協力する人々の年齢層の幅広さ、活動に参加・協力する人々の多様さについて、あてはまるものを選んで、配点に従って合計（里山活動点）を算出してください。

Ⅱ-3. 活動目的ごとにみた活動評価 ～「活動目的別の把握点」の評価～

*Ⅰ-2で明確にした「活動目的」に対応した項目についてチェックを行います。シート内では、(ア)～(エ)の活動目的ごとに「活動のモニタリング指標」（a、b、cなどの項目）が設定されています。

*「活動のモニタリング指標」項目が評価基準を満たしている場合、客観的評価として「活動の効果」が分かるようになっています。

→活動目的ごとに、「活動のモニタリング指標」項目の把握状況をチェックし、チェックした個数から「把握点」を算出してください。

Ⅱ-4. 活動により得られた成果 ～「成果点」の評価～

*シート内では、活動全体を通じて得られた成果について「活動の成果項目」が設定されています。

→「活動の成果項目」のうち、現在の活動を通じて得られたと感じているものを選び、選んだ個数から「成果点」を算出してください。

→同時に、次項「Ⅲ」での目標設定に向け、今後の目標としたい「活動の成果項目」についても選んでおきます。

→一覧に記載のない活動成果がある場合、「その他」の欄に具体的内容を記載してください。

【自己評価結果欄】

*Ⅱ-1～Ⅱ-4の得点をもう一度記入し、合計得点を算出します。

Ⅲ. 今後（次年度以降）の活動目標

<ポイント>前項「Ⅱ」の自己評価を踏まえて、活動主体自ら目標設定を行います。

Ⅲ-1. 総合的な活動目標の設定

→活動全体の目標となる、前項「Ⅱ-4」で今後の目標として選んだ「活動の成果項目」の実現に向け、今後の具体策を検討のうえ、その内容を記載してください。

Ⅲ-2. 活動目的ごとにみる活動の効果に応じた活動目標の設定

→前項「Ⅱ-3」で得られた「活動の効果」の結果を振り返り、今後の目標を設定してください。あわせて、目標とした「活動の効果」を出すための指標や指標の評価基準を設定してください。